

第19回（臨時） 泉地域審議会会議録

開催日時	平成23年8月29日（月） 14時～
開催場所	泉支所3階大会議室

■出席委員 8名

会 長	藤崎 英信	委 員	黒木 計	委 員	松永 美津代
副会長	寺田 浩	委 員	本山 幸人	委 員	塚本 佳代
委 員	坂田 一成	委 員	山田 尚美		

■欠席委員 3名

委 員	森山 和俊	委 員	森永 光子	委 員	富岡 弥
-----	-------	-----	-------	-----	------

■出席職員

泉支所長	岩村 広人	市民活動支援課	井戸 康雄
泉支所総務振興課長	東坂 宰		
〃 市民福祉課長	本田 正剛		
泉建設事務所副主幹	中村 道久		
泉支所総務振興課観光振興係参事	澤田 和徳		
健康福祉部長	上田 淑哉		
こども未来課課長補佐	早木 浩二		
こども未来課副主幹	岩崎 龍一		

■傍聴者

一般傍聴者	0名	報道機関	0名
-------	----	------	----

■次第

<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長挨拶 3. 支所長挨拶 4. 議題 <ol style="list-style-type: none"> ①八代市立保育所民営化等計画について ②住民自治組織について ③その他 5. 閉会

■議事録

(事務局)

皆さん、こんにちは。本日は、ご多忙のところご出席いただきましてありがとうございます。

まず、ご報告となりますが、8月29日に開催しました臨時審議会を第19回として、今回の審議会を第20回として開催させていただきます。

本日は11名の委員の中で8名のご出席となり、委員の2分の1以上のご出席を得ておりますので、地域審議会の設置に関する事項の第7条第3項により、本日の審議会が成立しますことをご報告させていただきます。

続きまして、資料の確認をさせていただきます。 省略

まず始めに、藤崎会長からご挨拶を賜りたいと思います。

※会長挨拶省略

ありがとうございました。続きまして、岩村支所長から挨拶をお願いしたいと思います。

※支所長挨拶省略

ありがとうございました。それでは協議事項に入っていきたいと思いますが、地域審議会の設置に関する事項の第7条第4項に「審議会の議長は、会長が務めるものとする。」と規定してありますので、これから先は、会長に会議を進めて頂きたいと思えます。よろしくお願い致します。

(議長)

それでは早速、審議に入ります。まず、議題1「八代市立保育所民営化等計画について」、事務局より説明をお願い致します。

(事務局)

先程、支所長からもお話がありましたけど、再三、私ども申し上げてきておりますけど、お詫びを申し上げなければなりません。今回、公立保育所民営化及び統廃合計画の概要について、地域の方々及び保護者の方に説明申し上げる前に、先んじて議会に報告、一部新聞等から報道がされました。皆様方に、多大なご心配ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。ご承知のことと存じますが、本市におきましては、近年の長引く経済不況で、本市に於ける税収の確保が厳しい状況となってきました。その一方で、生活保護や高齢者や障害者、そして保育園等の児童福祉、所謂社会福祉に係る予算は増大の一途をたどっている状況にあります。このようなことから、本市におきましては、職員数の削減や、指定管理者制度の導入、組織機構の見直し、住民自治による市民協働等の行財政改革を進めております。その一環としまして、今回の保育所民営化及び統廃合計画を作成しました。その計画の対象となっています、栗木保育園につきましても説明があった次第であります。なお、保護者の方々及び地域の方々には、8月19日に第1回目の説明会を実施しております。これからも、誠意をもってご理解を頂けるように、きちんと説明して参りたいと思います。

(委員)

只今、保育所民営化につきまして説明を頂いた訳ですが、8月10日区長の役員会でも説明をお聞きしました。その時も、厳しく部長以下職員の方にも申し上げましたがその件には触れませんが、8月15日に地区説明会を行われましたが、都合私は参加できませんでした。その時の地域の状況で、特に10日にもお願いしましたが、地域の皆さんも納得できる説明をお願いしましたが、その時の状況をお願いしたいと思います。

(事務局)

19日には、20名近くの方が説明会にお出でになりました。そのうち15名程度が保護者でその他が地域の方々だと思います。主な意見を簡単に紹介させていただきますが、下岳保育園まではかなりの距離があるので、バス送迎は考えていないのかの意見がありましたが、それについては、今後検討して参りたいと言うふうにとどまりました。それから、跡地をどうするのか、耐震問題という点はクリア出来ているのかと言うところですが、跡地については白紙の状態であるとお答えをしております。耐震問題については、栗木保育園は問題無かったとお答えしております。平成25年度に、廃園をすると計画をいたしておりますけど、その計画は、1年とか延ばすことは出来ないのかという質問がありました。その理由としては、今、泉第2小学校と一緒に運動会を実施している。2小の統廃合は、平成26年4月であるので、それに合わせることは出来ないのかと言う意見がありましたので、私どもが、示したものは計画でありまして、これに沿ってやっていきたいと思いますが、今後の保護者との話し合いの中で決めて行きたいとお答えするところでとどめています。将来的に、下岳保育園はどうするのか、廃園とか民営化とかの方向を考えているのか、こちらについては、実施計画の中で検討しますと答えるところでとどめています。下岳保育園につきましては、民営化の市場化テストを行いましたところ、3社程手を挙げたところであり、その結果を踏まえたとところで、今後計画を検討したいと考えますとお答えしたところでありました。御意見といたしました、河合場保育園の廃園と言うのが以前あったと言うことですが、旧泉村の方では5人以下になった時に廃園を検討すると言う事なんだが、そう言ったところを参考したらどうかと言うご意見がありました。それから、財源、財源というお話だけでなく、まず、子供たちどのように、今後育っていくかとか、園児をどうやって上手下岳保育園に移すか、そう言うことを中心に考えてほしいと。数字の独り歩きの様な気がするけど、行政の方で心の通った計画をたてていただけないかと言う感想、ご意見がございました。これについては、御要望として受けさせて頂きたいというところです。今後につきましては、こう言う状況を踏まえまして、内部で検討して、後援会長に相談をしたうえで、第2回目の保護者・地域説明会を開催したいと考えているところであります。

(委員)

今、説明の中にありましたが、園児の下岳保育園迄の登園の方策ですが、マイクロバ

スなどを検討されるという事ですが、これが一番園児に苦になる問題であります。これについては、保護者が一番気にしているところでもありますので、はっきりした線を、保護者が理解できる線を出して頂くことが前提になろうかと思えます。今後の地区説明会で出てくる問題を、しっかりと、心に刻んで、栗木保育園の保護者が十分納得するような計画をたてて頂きたいと思えます。

(委員)

私が一番心配しているのは、保育園が無くなると、栗木地区の若者が出て行ったり、結婚しても実家に残らない等して、地域に若者がいなくなり地区がすたれることも考えられるが、支所としても、そのところをどのように考えているのかお聞きしたい。

(事務局)

その辺の心配は確かにあります。人口も2300人を切るところまで来ており、その中で、周辺部が廃って、下岳に留まれば校区としてはいいのですが、下岳を通り過ぎて、下に出でしまう状況になると危惧するところですので、私どもも、総合的な方策を考えなければならないと思えます。

(議長)

先程お答えになった、2小との小中一貫校の関連で延ばすことは出来ないのかという質問に対して再度お答えをお願いします。

(事務局)

御意見は1年延ばすことは出来ないのかと言うことでしたが、答えとしては、結論からしまして出来ると思うとお答えしました。保護者の方・地域の方との話し合いの中で今後決めて参りたいと思えます。

(委員)

施設は、今の下岳保育園に栗木保育園児が来る、そのままの施設ですか。出来れば、遠くからでも、わざわざでも連れて来たいと言う保育園なれば、鏡町や東陽町などの遠くからでも来るのではないのでしょうか。

(事務局)

建設的な意見ありがとうございます。個々の保育園を見れば、魅力的な保育が実施出来ることが非常に大切だと思います。質の高いサービスを提供することは、市立、公立問わず求め得ているところであります。ただ、将来的には私どもとしては行財政改革というのが最終目標にありますから、民営化(統廃合)を進めて行くところで、現時点において、全ての公立保育園において、民営化或いは統廃合を進める訳でございます。だからと言って、公立保育園を厳かにする訳ではございませんが、教育の質は高めていかなければならないと考えています。

(委員)

先程から聞いていますと、民営化、民営化と言う事で全て民営化にされると言うお考えですが、地域に於いて民営化になった場合、その後を誰が受けてくれるか、大きな受け皿が、泉町としてはないでしょうか不安で一杯であります。民営化民営化という言葉自体が、私自身嫌いな訳です。公立で公立、どうすれば公立で運営されていくのか、例えば、予算が非常に厳しいと言われてますが、そこらあたりを深く考えながら、公立保育園をどうかして残して頂けないものでしょうか。

(事務局)

先程からお金の話をして、大変恐縮なんです、八代市の一般会計に於ける、民生費(社会保障)で平成23年度で192億円、平成22年度で180億円チョットとで、毎年10億円程増えてきている状況にあります。全体の、一般会計予算自体は伸び悩んで中で、どこかで削る等我慢しなければならないところでもあります。言われる通り、公立保育園の役割と言うものは重要であるものと十分分かっているところでございます。現時点で公立保育園の民営化を進めているところでもあります。今後は、諸事情を考慮しながら、計画の見直しをしていかなければならないと思います。その点については御理解を頂ければと思います。

(委員)

今の政治の在り方と言いますか、行政の在り方と言いますと、非常に地方にとっては不安ばかりであります。今日は、保育園の問題ですけど、先日は小中学校の統廃合の問題などを考えますと、だんだん人の数が減るから合理化してしまえと言う方針で、一口で言ってしまうと予算が無いから切ってしまうと、予算が無いから教育も程々にしろと言うのと全く同じ事だと思えます。こう言う事が起こる前に、もう少し少子化対策や過疎化対策をしっかりやってきていけば、人口も減ることが無かったらうし、今になってしまえば、こう言う手段でしか仕方無いかと言う感じがしますけど。これは、八代市だけの問題じゃなく、日本全体の問題であり、地方を大事にしないと日本の国が危ぶまれてしかたないのですけど。地方を大事にしないと。地方が元気にならないと、日本全体が駄目になるという気がしてなりません。先程から色々な意見や話しを聞いていますと、人口が減るから統合しろとか、将来的に、下岳保育園を廃園せざる得ない感じになる気がしているところでもあります。それを、保持するためには、行政はもとより、そこに住む住民も、そう言う心配をしながら努力をする必要があるのではないのでしょうか。

(事務局)

今のことにつきましては、御要望として受け承りたいと思います。また、先程からお話になっておりますことにつきましては、貴重な提言でございますので後日市長の方にもお伝えしておきたいと思えます。

(委員)

財政的な話で統合民営化の話のようですが、まずは弱者の少なくなっているところか切っていこうと言う様な考えのように見受けられるのですが、財政的面から考えると、中心部の大きい公立保育所の方から手をかけた方が、民間の保育園も沢山あるので、ここしかないと言うところは後回しにした方が良いのではないのでしょうか。考えて頂けないのでしょうか。

(事務局)

市内部の大きな公立保育所から民営化にした方が良いとの事ですが、提言書の中に挙げました6園ございましたけど、その他に大きい保育園、これにつきましては現在、これを建てるときに、借金と言うか起債をしております、未だ起債の償還中でありまして、もうしばらく起債の償還がかかりますので、この起債の償還が終わりました時点で、中心部のその大きな公立保育園については、民営化等を考えて行きたいと思っております。今後の、2期計画以降に民営化の計画はそのような方向で進んで行くと思われまので、その段階で検討していきたいと考えている次第でございます。

(議長)

質問等無いようですので、議題2「住民自治組織について」事務局より説明をお願いします。

※事務局 市民活動課 資料に基づき説明

(議長)

今の説明に対しまして、何かご質問ご意見はありませんでしょうか。

(委員)

説明の中で、各小学校単位ということですが、このことは、チョッと不味いのでは。と言うのは、私も各種団体から選ばれている協議会があるのですが、その中のメンバーなのですが、その中でこの住民自治に対する検討会をやっているのですが、説明の中で、それぞれ各小学校単位で作って下さいと言われてきたのですが、それはチョッと間違いであって、泉町は泉町での一つの組織という考えで、この住民自治組織を作ることになるかと思っております。そういうことで御理解を頂かなければと思っております。

(事務局)

基本的には小学校単位でと言う事としておりますが、地域の独自性と言うものが、環境と言うものもありますので、例えば泉地域におかれましては2つであるとか、五家荘地域など地域性条件等もありますので、2つ3つ設置することも可という様にしております。市としては、基本的には小学校単位として考えているのですが、地域を幾つかに分割して設置するのも可能としております。

(委員)

泉は地理的条件もありますので、下岳校区、2小校区、3小校区、五家荘校区と言うような設置が望ましければ、その方向で、市のほうで認めて頂ければそれが一番良いのではないかと思うのですけど。しかし、補助金の流れは、あくまでも泉町は泉町で一本で来ますよね。それを、もし別れたら分配の過程でどうかとは思いますが。これから、泉町は各種団体によって、協議会と成るものを作って、この住民自治に進んで行くよう、今、事務局の方でしておりますので、まず、そちらの方が先と言う事で頭の方に於いていただければと思います。

(委員)

全て納得しました。泉校区は一つと聞いておりましたが、もし、一つとして出来あがったとしても形だけで終わってしまうのではないかと危惧しております。泉町は、歴史・文化・産業等の環境が違う中で、それを一つにしたとしても、うまくいかないと考えておりました。今日の説明を聞いて納得しました。

(事務局：支所長)

今の件につきまして、概要的なものを含めまして説明させていただきます。基本的には、泉校区は一つということは一緒であります。補助金を受ける組織としては一つということなんです。ただ、住民自治活動を実施する協議会、協議会で補助金を受けますので、泉校区は一つと言う事になりますので。ただ、その中で地区毎の単位のグループを組織しても、何も問題ないでしょうという意味でのことです。ですから、五家荘に一つ、こちらに1つか2つということで、今話を進めているところです。先程の先行モデルについては5校区、これは、設立準備会が設けられて、来年度からモデル地域のスタートとしての準備の作業に入ったと言う事であります。隣の、東陽校区もその為の準備に入っているところであります。泉校区はどうするかという点が、大きな問題ですが。これについては、住民自治につきましては、第2期、3期の地域審議会の中でも、説明会の形で状況を報告させていただきたいと思っております。基本的には、市政協力員の皆さんにのみ具体的な説明をやってきた経緯はありますが、区長さんの会議の中で出たのですけど、このような大きな問題については、区長会では決定というのはかなり厳しい。区長さんは基本2年で交替されます。その状況の中、この問題は長い年月をかけないと取り組めない、これは、区長が主体となって取り組むべきものでないという話もありました。モデル地区に手を挙げる段階になって考えてみようと、区長会で中心で、地域審議会の中からももらって、全体でこの住民自治を考える、設立準備委員会の前の検討委員会のような形で設け、その中で色々な意見等を出してもらいながら、よりよい泉校区としての取組を考えていけたらという様に考えております。それで、平成23年度検討委員会を組織したいと、その検討委員会の組織について、支所の方で現在検討を進めているところであります。早くて、平成24年度に、そう言う組織を立ち上げまして、平成25年度の設立準備委員会を設置し、平成26年度から先行モデルの始動が出来ればと考えているところであります。

(委員)

こう言う話を聞く機会がなく、不勉強なところでありますが。区長さんは2年で替わられますが、運営する人をどうするかと言う点が一番ネックになるかと思いますが、人口は減るし、高齢化は進むし、若者はいない、後継者もない、その中でどうやって組織を作っていくかということがネックになるかと思いますが。後継者が残らない地区はどうするのか、例えば、下岳地区で作ったとして、高齢者ばかりの地区もありますね、そこから、どうやって代表を選んで出すのか。それを区長さんに2年で替わる、でも組織は長い目で見ないといけないといけないから、任期を4、5年と長いことで考えると、人をどう作るかという点が大変だと思います。

(議長)

他の何か質問等はないでしょうか。無いようですので、その他に入ります。

(事務局)

この地域審議会の中から、黒木委員さん、下岳地区の東さんが、八代市ケーブルテレビ管理運営審議会の委員として参加されております。先日、運営審議会が開催されましたので、黒木委員さんより中間報告をお願い致したいと思います。

(委員)

委嘱状交付、会長及び副会長選任後4諮問に対する協議

- ① 料金の統一
- ② インターネット使用料の改定
- ③ ケーブルテレビ使用料の減免の統一見直し
- ④ 消費税の標記

内容については、9月の第2回目の審議会に於いて、審議を行い市長への答申を行う事とことでした。答申が終わってから、市の方から市民へ説明がある予定であります。

(議長)

以上をもちまして、臨時審議会を終了させていただきたいと思っております。委員の皆様お疲れ様でした。